

令和2年7月1日

愛知県ドッジボール協会「新型コロナウイルス感染防止について」

愛知県ドッジボール協会
理事長 山田強志
競技審判部長 市川 篤
指導部長 石川真二

《チームの活動範囲について》

愛知県ドッジボール協会として、県内チームのドッジボール活動について、新型コロナウイルス感染拡大防止措置の規制解除に向けて、「ステップ1～3」を設定しました。チームの皆様には協会としての判断したことにご理解ご協力をお願いいたします。

尚、全国的に全面解除となるまでは、どのステップに於いても、当協会が示したガイドライン等を遵守の上、ステップ毎の活動範囲を遵守していただきますようお願いいたします。

1. チーム活動再開に向けての段階と目安

～ステップ1～

【活動範囲】

- ・ チームでの練習が可能
- ・ 他チームとの合同練習や練習試合等の交流や移動は禁止

【判断基準】

- ・ 県内の8割を超える小学校が再開（休校の解除）された場合、屋外でのチーム活動を再開可能とします。（但し、利用制限が解除された場所（公園・広場等）でのみ活動すること。）また、体育館等の学校（公共）施設が利用できる場合は、主たる活動場所でのチーム活動を再開することを認めます。

※チーム本拠地の学校が休校中や練習場所が解除されていない場合は、チームでの練習は出来ません。各チームで情報を収集し、的確な判断してください。

～ステップ2～

【活動範囲】

- ・ ステップ1に加え、県内での交流が可能

【判断基準】

- ・ 各チームの市区町村の活動状況や県内の感染状況等、相当の経過観察を経て、県内チームとの交流や移動を可能とします。但し、練習試合や合同練習については、最低限の人数とし、且つ、県協会が定めたガイドライン等を遵守して活動出来る場合に限ります。

～ステップ3～

【活動範囲】

- ・ 県境を越えての交流が可能

【判断基準】

- ・ 国(県)が示す方針や対応、更に県内・県外の活動状況等、相当の経過観察を経て、県境を越えて他チームとの交流や移動を可能とします。但し、県外遠征の決定は、チーム保護者との話し合いを行い(または、承諾を取るなど)、指導者単独で決定はしないことを前提とします。
- ・ 指導者は、遠征先の新型コロナ情報は必ず入手し、感染状況が思わしくない場合は控えてください。

※ステップ3でも、実施する際は「練習時に於ける新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」等を遵守してください。全国の方と交流できたとしても、まだ全面解除ではありません。

「国内・県内の感染状況の変化により、一旦進んだステップは戻る場合もあります。」

2. すべての「ステップ」における留意事項

- ① 感染防止対策を最大限心がけてください。(愛知県ドッジボール協会としての対応を参照)。
- ② 疲労は自己免疫力を下げます。過度な練習にならないよう気をつけてください。
- ③ チーム行事・会議についても原則として集合型では行わないようにしてください。

「政府が新型コロナウイルスに関する規制をすべて解除されるまで、感染防止対策の徹底をしてください」～大切な生命、財産を守るため、ご理解・ご協力をお願いいたします～

《練習時に於ける新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン》

6月からチーム練習を開始しているところがあると思いますが、愛知県ドッジボール協会として、チーム練習時に於けるガイドラインを作成しましたので、ご一読いただき感染防止に努めて頂きたいと思っております。

感染防止の大原則は、こまめな手洗い消毒、いかなる時もソーシャルディスタンスを保つ、3密を避ける、飛沫感染を防ぐ(唾液・つばが飛ばないようにする等)、接触感染を防ぐ(他人のタオルを使わない、接触しない等)、そして、感染予防として自己免疫力を高める(下げない)よう、十分な睡眠、バランスの取れた食事、適度な運動…で体調を整えることなどが必要です。

チームの指導者は、感染予防について正しい知識を入手し、的確な判断の下、最大限の感染対策を行いながら練習(指導)に取り組んでください。ただし、暑い時期に入ると熱中症の心配もありますので、マスク等については、指導者が適宜脱着の判断をしてください。外した際にはソーシャルディスタンスの確保に努めてください。

尚、以下の文面は、参加者の主体性に任せるのではなく、チーム指導者が指揮・指導・監督・管理することが前提ですので、よろしくお願いします。

例)マスク等を着用する → 指導者は参加者全員にマスク等を着用させるよう指導・管理する

例)休憩時には、手洗い(手指の消毒)を行う → 指導者は必ず実行されるよう指導・管理する

1. 選手、指導者、保護者が事前に把握しておくこと(必須事項)

① 以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせる。

※書面で参加者全員の健康状況を確認するのが望ましい。

(1) 参加者に対し検温及び体調に関しての聞き取りを行い記録する。

※少しでも体調不良の場合は、練習に「参加しない/させない」を徹底する。

(2) 本人及び同居人の体調がよくない場合。(例:発熱・咳・咽頭痛など、風邪の症状がある場合)

(3) 同居人や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。

(4) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

② マスク等を着用(持参)する。(ただし、熱中症対策には十分に配慮し、適宜判断する)

③ 着替えを持参する。

④ こまめな手洗いやアルコール等による手指消毒を実施する。

⑤ 他者との距離(できるだけ2m以上)を確保する。

⑥ 練習中、大きな声で会話、応援をしない。

⑦ 自分専用の飲料ボトルを用意し、紙コップ等で飲料水を配らない。

⑧ お菓子類の提供はしない。必要な場合は各自持参し、他人に提供しない。

⑨ 感染防止の為に施設管理者が決めた措置を遵守し施設管理者の指示に従うこと。

⑩ 利用終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、施設管理者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

2. 練習現場では

① 指導者、保護者は最低限の人数にする。

② 参加者全員の体調管理・衛生管理の徹底

- (1) 参加者が万全の体調であるかの確認を行う。
- (2) 練習会場に入ったら全員が手洗い、または、手指の消毒をする。(こまめに消毒をする)
- (3) 練習会場のすべての窓、ドアを開け換気する。
- (4) 各自の荷物は固まらせず、バラバラに置き(全員が一度に荷物のところへいかないように)飲み物やタオルも同様にする。
- (5) 隣とのスペースはいかなる場合においても、前後左右の間隔を2m以上あける。
- (6) 練習中、休憩中を問わず、他人とのおしゃべりや、声出しなどの行為は極力しない。
- (7) 他人の身体に直接触れることはしない。
- (8) トイレに行ったら、手洗いを行う。
- (9) 常にソーシャルディスタンスを意識した練習を心掛ける。
- (10) 熱中症予防のため、水分をこまめにとる。
- (11) 器具を使うトレーニングは、用意する人間と、片付ける人間が同じであること。
- (12) 身体や手に触れる器具は、使う前と使った後に、必ず消毒する。
- (13) 休憩時には、手洗い(手指の消毒)を必ず行う。
- (14) 複数のボールを投げたり捕ったりした場合、適時、着替えをする。
- (15) 使ったボールは、休憩毎に必ず消毒を行う。
- (16) 持ち物は、自分のカバンの中に入れる。(他人の物との接触を避ける)

③ 練習では

- (1) 指導者は、伝えることは最低限にし、話す機会を極力減らす。
- (2) 個人で取り組む練習を取り入れ、複数で行う練習をなるべく減らす工夫をする。
- (3) ランニングは、揃って走らない、時間差をつける、間隔をあけて、個人で走る等、密にならないよう工夫する。
- (4) かけ声をするトレーニングは、声を出さず、手でカウントするなど、声を出さない対策をする。
- (5) 隣同士が近く密になるフォーメーションの練習は時間を短くする。
- (6) ペアでボールを使う場合は、必ず決まったペアでおこなうこと(一つのボールに触る人を極力少なくするため)※ペアを代える場合は、その都度ボールを消毒する。
- (7) 練習時間を短くし、休憩時間(5分から10分)をこまめにとる。

④ 終了後

- (1) 終了後は、速やかに使用した場所から退出する。
- (2) 使用した場所のガイドラインに従い消毒を行う。無い場合でも自主的に必ず消毒を行うこと。

《大会開催時等における新型コロナウイルス感染防止対策について》

5月25日を以って全国の緊急事態宣言が解除されました。しかし、ここで気を緩めてしまえば、一気に感染の第2波が生じる可能性があります。特に団体競技(スポーツ)においては、全員が緊急事態宣言発令中と同じ意識を持ち、対応することが求められています。主催側として、また、参加者としてドッジボール大会等において遵守すべき事柄をまとめましたので各チームで共通理解をお願いします。

ただし、マスク等の着用については、熱中症対策も考慮した上で、指導者の判断で行ってください。マスク等を外した際には、ソーシャルディスタンスの確保に努めてください。

尚、行政等の方針や社会情勢を踏まえ対応は逐次変更(緩和・強化)して参りますので、大会要項やホームページでご確認ください。

＜主催側＞

1. 参加チーム募集時の対応

- ① 参加条件に以下の内容を記載すること。
以下の3点が当日までに発覚した場合、参加を認めない。
(1) 体調がよくない場合。(発熱、咳、咽頭痛等の症状)
(2) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
(3) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との接触がある場合。
- ② マスク等を着用すること。(食事をする、試合でプレーをしている時以外は、必ず着用すること。)
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をチーム全員が必ず実施すること。
- ④ 他チームの参加者(保護者含む)、主催者スタッフ等との距離を2m以上確保すること。
- ⑤ 大会中に大きな声で会話、応援をしないこと。
- ⑥ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ⑦ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ⑧ 参加条件に対して誓約書を作成し、誓約書にサインを求めることができる。

2. 当日の参加受付時の対応

- ① 受付は、手指消毒剤を設置すること。
- ② 発熱や軽度であっても咳、咽頭痛などの症状がある人は入場しないことを呼びかける。
- ③ 受付で書類を渡す、参加費、メンバー表を受け取る等の時は、消毒を事前にしてから受け取る。
→受付時に書類等を介してのやりとりを極力なくすこと(通信機器を利用すること等)
- ④ 受付を行うスタッフには、必ずマスク等を着用させること。
- ⑤ 当日の受付について、時差をつけるなどして、混雑を極力避けること。
- ⑥ 参加者から体温を記載した書面の提出を求めること。
→メンバー表に指導者・選手の名前の隣に体温の欄を作り、当日体温を計測し記入し、提出することを義務づける。尚、保護者の場合は、各チームで把握しておく。
- ⑦ 受付するチーム関係者は、必ずマスク等を着用すること。

3. 参加者への対応

- ① 全員(選手、指導者、保護者、見学者等)に対して
 - (1) マスク等の着用を徹底すること。
 - (2) こまめに消毒をすること。(チームで消毒液を所持しておく)
 - (3) 必要最低限の会話におさえること。
- ② 選手に対して
 - (1) 試合でプレーしている時(ベンチの選手はマスク等着用)と食事をしている時以外は、必ずマスク等を着用すること。
 - (2) たとえマスク等をしていても不要な会話は控えること。
- ③ 指導者に対して
 - (1) 常時マスク等を着用すること。
 - (2) ミーティング時に選手との距離を2m離れた状態で、短い時間で終わらせること。
 - (3) 選手への安全確認時は声を極力出さず、選手、審判と適切な距離を保つこと。
- ④ 保護者に対して
 - (1) 常時マスク等を着用すること。
 - (2) 応援は大きい声でしないこと。
 - (3) 選手や指導者へ手渡しするものについては、消毒をおこなった上で直接手が触れないように注意すること。
 - (4) 指導者へのコップに入れたお茶やコーヒー等を渡さない。(手などが触れているため)
- ⑤ 審判員に対して
 - (1) コート上にいない審判は常にマスク等を着用する。
 - (2) 選手・他の審判との距離を常に適切に保ち行動する。

4. 大会主催者が準備すべき事項

- ① 手洗い場所
 - (1) 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意すること。
 - (2) 手洗い後に手を拭くために、参加者各自がマイタオルを持参して使用すること。(乾燥させる設備は使用しないこと)
- ② 休憩・待機スペース
 - (1) 広さ(他チームとの距離等)にゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。
 - (2) ゆとりを持たせることが難しい場合は、参加者の数を制限する等の措置を講じること。
 - (3) 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所(テーブル、椅子、ドアノブ等)については、こまめに消毒すること。
 - (4) 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること。
 - (5) スタッフ、審判が使用する際は、入退室の前後に手洗いを必ず行わせること。
 - (6) 記録ボード等を設置しないこと。(人が集まってくることを防ぐ)
- ③ 洗面所
 - (1) トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所についてこまめに消毒する。
 - (2) トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。

(3) 手洗い場には石鹼を用意する。

(4) 手洗い後は、各自マイタオルを用意すること。

④ 飲食物の提供時

(1) 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行う。

(2) スポーツドリンク等の飲料については、各自用意すること。

※ジャグなどの複数の人が密接して触れるものは使用しない

(3) お菓子等もドリンクと同様、複数の人が密接する可能性が高いため用意せず、必要な場合は各自で用意すること。

(4) 飲食物を取り扱うスタッフには、マスク等を着用させる。

⑤ 観客の管理

(1) 観客同士が密な状態とならないよう、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対策をとる。

(2) 大声での声援を送らないことや会話を控えること。

(3) 常時マスク等を着用させること。

⑥ 会場

(1) 換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと。

(2) 定期的に窓を開け、外気を取り入れる等の換気を行うこと。

⑦ ゴミの廃棄

(1) 鼻水、唾液などがついたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛る。

(2) マスク等や手袋を脱いだ後は、必ず石鹼と流水で手を洗い、手指消毒をすること。

《大会における新型コロナウイルス感染防止についてのお願い》

愛知県内に出されていた、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言が5月25日に解除されました。しかしながら、第2波も心配されますので当分の間は感染に関し予断を許さない状況にあると思われまます。

愛知県ドッジボール協会としまして今後の大会開催に際し、以下の感染防止対策を基本とし実行いたしますので、ご理解ご協力並びにチーム内への周知をお願いいたします。尚、行政等の方針や社会情勢を踏まえ対応は逐次変更(緩和・強化)して参りますので、大会要項やホームページでご確認ください。

1. 体調が少しでもすぐれない方は参加・入場をお断りします

- ・本人及び同居人に発熱、頭痛、下痢、嘔吐などの身体に何らかの不調がある場合には参加しないでください。
- ※ 感染防止に必要な意識は「自分が感染者かも」です。仲間のため、勇気をもって無理はしないでください。

2. 来場する方全員にマスク等の着用を義務づけます

- ・会場に入場する方は必ずマスク等を必ず着用してください。
- ※ マスク等未着の方は入館できません。

3. 各チームでもアルコール等の消毒液を用意し 必要に応じ消毒をしてください

- ・来館した際の消毒液等は主催者で用意しますが、大会中は各チームで最大限の消毒をお願いします。

4. 集団感染を防止するため「3つの密」の対策を講じてください

- ・隣同士が密にならないよう2m位の間隔を取る。
- ・近くの人や向き合う会話を避け、大声での会話・歓声等をしないようにする。
- ・食事の際も向かい合わず、会話は極力避ける。

◎ 大会開催に際し感染予防の為 以下の事を実施します

- ・大会当日、出場メンバー全員の当日の体温を記入して提出していただきます。
- ・入場の際には、来場者全員にアルコール等の消毒を行っていただきます。
- ・試合に使用するボールは、試合毎にアルコール等による消毒を行います。
- ・試合に於ける選手同士の握手は行いません。
- ・密を避けるため、会場の場所の広さを考慮し、保護者の入場を制限する場合があります。

上記の対策を講じても感染の可能性が完全に無くなるわけではありませんので、感染リスクを承知の上、自己責任で参加してください。

※大会以外の講習会・研修会についても同様の対策を行いますので、ご理解ご協力をお願いいたします。